

整理番号	受付年月日	相談者氏名	相談手段
1-2-1	2013年10月16日	匿名	直接

質問 Q

カーボンリスクとはどういうことを言うのでしょうか。

回答 A

地球温暖化、エネルギー価格高騰——。深刻化の一途をたどるこの問題が今、企業経営にとっての大きなリスクとなっています。企業の生産活動におけるエネルギーの消費が今は「カーボンリスク」と呼ばれ、国はもとより企業・個人にまでさらなる「省エネルギー」「CO₂の排出削減」が求められています。さまざまな法規制も進む中、企業にとっては、早急な対応が必要となってきています。

近年の企業の経営環境において、カーボン・リスク・マネジメントという側面は国際的にみても避けて通れない問題になりつつあります。CO₂排出がイコールコストとなる時代が近づいています。

今後、企業はこれまで通常のビジネスリスクとしてあった財務リスク、戦略リスク、業務リスク、偶発的リスクなどに加えて、これら全般にまたがる「気候変動リスク・カーボンリスク」への対応が迫られることとなります。

投資家や顧客が、企業の地球温暖化および省エネ対策にどれくらい真剣に取り組んでいるかによって、その企業のブランドを評価する傾向も見られるようになってきました。省エネ対策も含めたカーボンリスクにどう対応するかということが、非常に重要な経営課題になってきています。

環境省や経産省が推進しようとしているカーボンフットプリントも製品やサービスのライフサイクルおよびサプライチェーンのどの過程で、どれだけのエネルギーが使用され、CO₂が排出されているかを的確に把握するための制度です。

現状を把握し、今後の外部環境の変化に応じて、どこに、どんなリスクや収益を伸ばす機会があるかを評価し、競合他社との差別化のための環境配慮型サービス提供など新たな戦略を決定し、優先順位をつけて、着実に実行に移すことが大切です。

また今後、再生エネルギーの利用や排出量取引なども法的にCO₂を削減することと同等に評価されるようになるので、オフセット対策の検討も欠かせません。

参考： ITmedia エグゼクティブ HP 環境経営とリスク対応より
カーボンマネジメント時代の到来 日本総研 2008年07月08日 青山光彦氏